



～もっと地域と もっと地域へ～

かがやくえがお

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

第13号

令和8年 6月30日
長崎市立小島小学校
校長 桐山 充晴

教育週間終わる

先週土曜日からスタートした「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では、多くの保護者・地域の方に御来校いただき、誠にありがとうございました。

初日の「心を見つめる集会への御参加」「引渡し訓練への御協力」に始まり、期間中は子供たちの授業の様子を熱心に参観していただくだけでなく、授業の補助やサポートにいたるまで、多大なる御協力をいただきましたこと、心から感謝いたします。



子供たちが「豊かな心」を育み、本校の教育目標になるように「かがやくえがお」を実現するためには、学校だけでなく、家庭、そして地域が一丸となることが欠かせません。「大人総がかり」で温かく見守り、導いていくことが、子供たちの大きな安心感と健やかな成長につながります。今後とも、本校の教育活動への御理解と変わらぬ御支援をよろしくお願い申し上げます。



朝の挨拶運動



23日(火)と25日(木)の2日間、小島中学校区青少年育成協議会様の御協力のもと、登校時の見守りとして「挨拶運動」を実施しました。両日ともあいにくの雨模様でしたが、子供たちの登校に合わせ、育成協の宮崎会長や父母と教師の会の山崎会長をはじめ、多くの方が傘を差しながら、登校してくる子供たち一人一人に温かい声を掛けてくださいました。

活動後は、地域の皆様から「小島小の子供たちは、雨の中でもしっかりと目を見て気持ちのいい挨拶ができて素晴らしいですね。」と大変うれしいお褒めの言葉をいただきました。



雨の日の憂鬱さを吹き飛ばすような、子供たちと地域の皆様の爽やかな交流が見られた素敵な2日間でした。雨の中、朝早くから子供たちのために活動してくださった皆様、本当にありがとうございました。



決意表明

教育週間初日に行った「心を見つめる集会」の中で、それぞれのクラスで自分たちが目指す学級の姿を「決意」を込めて発表しました。



どの学級も、みんなで生活するうえで大切なことをしっかりと話し合い、自分たちにできることを考えています。このことを決めたことで終わるのではなく、学校だけでなく、どんな時も一人一人が常に意識しながら生活することが重要となります。

276人誰一人取り残さず、笑顔が輝くように、日々見守り声を掛けていきます。御家庭でも御支援よろしくお願い申し上げます。

